

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

企業家は自ら考え、何度でも社員に言い続けること 永守 重信 (日本電産会長)

1. 最近は大学発のベンチャーが増えている。博士号を持っている人が起業するといったケースも珍しくなくなりました。その分、技術力はある。では、大きく売れるものを作っているのかというと、怪しいです。「あなたの製品にはどんな市場がどのくらいありますか。売れる価格の想定はありますか」と質問すると、満足できる答えが返ってこないことが多い。それはなぜかという、経営者になっていないのです。技術者のままなのです。確かに世の中の役に立つもの、課題を解決するものやサービスを作り出そうとしている。でも、それ以上ではないのです。
2. 私は企業というものは社会にどう役立つか、貢献するかを重視しています。企業というのはもともと世界に貢献するのが役目です。「世の中の課題を見つけることが大事」とよく言いますが、それは本来は簡単ではありません。例えば、ドローンが人間の移動手段になることだって十分あり得ます。そうすれば足の不自由な人も移動しやすくなります。社会問題の解決につながって市場も大きい。そのぐらいのことを考えて進まないといけません。
3. 私は日本電産の苦しい時代に立石電機製作所 (現オムロン) の創業者、立石一真さんにお世話になりました。苦しいことがあって「どうしたらいいですか」と相談すると、立石さんは教えない。「今、教えたら君は何もできなくなる。自分で考えて」と言うのです。企業家には自ら考えて苦労させないと育ちません。何としてもやり遂げようと思うことは、何度でも社員に言い続けることです。

(参考:「日経ビジネス」2019年8月5日号)

幹部への活きた言葉

あるがまを素直に受け入れる 桂紹寿 (京都、華厳寺 住職)

1. 自分の都合で「これはいいこと、こっちは悪いこと」と区別することを禅宗では「分別」といい、よくないこととされています。物事が起こるときには、必ず原因があります。見える原因もあれば、まったく見えない原因もある。人間は見える原因を探そうとしますが、実はほとんどが見えない原因です。
2. 禅宗には「冷暖自知」という禅語があります。「冷たさも熱さも自分で触ってみなければわからない」という意味です。理屈だけでわかったような気になってはダメです。大切なのは、自分の都合のよいことや悪いことにとらわれず、物事のあるがまを素直に受け入れることです。そのとき、苦しみから解放され、真の安らぎを得られるのだと思います。

(参考:「PHP」:2019年10月号)

経営者のための危機管理

「沖縄のビール」でなくなったオリオン

1. 沖縄のビールといえばオリオンビール。県民1人ひとりが営業員となって来訪者に薦めてきた成果だ。そんな情景に水を差す事態が起きた。オリオン経営陣が今年1月、野村ホールディングスと米投資ファンド・カーライルグループによる買収を受け入れたのだ。2ヶ月後の3月にはTOB (株式公開買い付け) が成立し、正式に「沖縄資本のビール会社」ではなくなった。
2. 会社側は「出荷量の減少に歯止めがかからない」「株主の高齢化が進み、安定した株主が必要になった」と説明する。野村の全国のネットワークと、企業価値向上で実績のある外資ファンドの力を合わせグローバル企業へ脱皮する。与那嶺清 (当時) 社長は1月の会見で「県民のビールであるというアイデンティティを維持する」と強調した。ただ、オリオンを支えてきた県民は、裏切られたという思いだ。(参考:「週刊東洋経済」2019年8月3日号)

古典に学ぶ

論語と算盤は一致すべきもの

(解説) 余は平生の経験から、自己の説として論語と算盤とは一致すべきものであると言っている。孔子が切実に道徳を教示せられたのも、その間経済にも相当の注意を払ってあると思う。これは論語にも散見するが、特に大学には生財の大道を述べてある。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)